



京都大学交響楽団



Kyoto

東北大学交響楽団



Tohoku

PROGRAM

プログラム

東北大学演奏

L.v. ベートーヴェン

交響曲第 8 番 へ長調 Op.93

指揮：齊藤正樹

休憩

京都大学演奏

C. ニールセン

交響曲第 2 番 ロ短調 『4 つの気質』 Op.16

指揮：志方洋介

休憩

合同演奏

M. ムソルグスキー

交響詩 『禿山の一夜』 (リムスキイ=コルサコフ編)

指揮：齊藤正樹

R. ワーグナー

楽劇 『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』 WWV.96 より
第 1 幕への前奏曲

指揮：志方洋介

東北大学交響楽団 実行委員長 霜村栄作

本日は、東北大学交響楽団 × 京都大学交響楽団ジョイントコンサートにお越しくださいまして、誠にありがとうございます。5年に一度の京都大学交響楽団との合同演奏会開催のため、昨年の冬より実行委員会を組織し、準備を行なってまいりました。また、我々東北大学交響楽団にとって唯一とも言える他大学との交流の機会を団員一同心待ちにしてきました。通常の定期演奏会とは異なる点が多く苦労は絶えませんでしたが、たくさんの方々に支えられ、今日この日を迎えることができましたことを大変うれしく思います。

なかでも合同曲の練習は苦労の連続でした。普段から連絡を取り合いながら各団独自に練習を行ってきましたが、互いに顔を合わせることができたのは一昨日のことです。しかし、練習を通じて多くを学び、多くの刺激を受け、なにより多くの友を得ることができました。想像した以上に喜びに溢れた二日間を過ごせたと思います。この喜びを本日は演奏を通して、皆様と共有できれば幸いです。

本日指揮を振ってくださいます 志方洋介さん、斎藤正樹先生をはじめ、当団音楽顧問の菊地健夫先生、当団常任指揮者の石川善美先生、当団副指揮者の高橋信雄先生、数えきれないほどの方々のご尽力があり、無事このジョイントコンサートが開催できましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。最後になりますが、演奏会のきっかけをつくってくださった京都大学交響楽団のみなさまに、団を代表いたしまして深く感謝申し上げます。

それでは最後までごゆっくりお楽しみください。

京都大学交響楽団 総務 田中美月

本日はお忙しい中、東北大学交響楽団 × 京都大学交響楽団ジョイントコンサートにお越しいただき、誠にありがとうございます。無事にこの日を迎えることができたのは、東北大学交響楽団の皆様をはじめ、関係者の皆様のご尽力、そして何より足を運んでくださったお客様のおかげです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

東北大学交響楽団と京都大学交響楽団がジョイントコンサートを行うのは、今年で8回目になりました。両団ともに創立100周年を間近に控えた歴史ある楽団であり、同時に5年ごとに行ってきたこのジョイントコンサートも、長い年月をかけて積み重ねられてきました。両団にとって、ジョイントコンサートは他の楽団と音楽性を磨きあう貴重な機会です。この機会を活かして互いに刺激を与えあい、一度きりの音楽をつくりあげたいと思います。

本日のコンサートでは、各団の単独演奏と2曲の合同演奏をお届けいたします。単独演奏では各団が培ってきた伝統や音楽性を、合同演奏では両団の音楽性がぶつかりあって生まれる迫力の演奏をお楽しみいただければと思います。大学オケならではの熱演をどうぞお聴きください。

東北大学交響楽団は 1921 年に発足し、大学オーケストラとしては日本有数の長い伝統を持つております。1949 年のベートーヴェン交響曲第 9 番の東北初演や、1959 年のブラームス交響曲第 1 番の仙台初演など、積極的な活動を続けてきました。

年 2 回の定期演奏会と大学公式行事での演奏を活動の中心に据え、これまで国内外から著名な指揮者・ソリストを招き、常に音楽性の高いコンサートを目指してきました。また、東北近県への演奏旅行、小中学校での演奏会など、地域に根差した活動も行っております。

東北大学 交響楽団



東北大学交響楽団 第 161 回定期演奏会

2013 年 12 月 7 日 (土)

北京大学百周年記念会館 川内萩ホール

指揮者：高橋 信雄（当団副指揮者）

曲目

ビゼー作曲 「カルメン」第 1 組曲、第 2 組曲より抜粋

スマタナ作曲 連作交響詩「わが祖国」より「高い城」

メンデルスゾーン作曲 交響曲第 3 番イ短調「スコットランド」

《お問い合わせ》

TEL : 080-6606-1293(鈴木)

E-mail : tuso.161@gmail.com

公式 Web ページ

<http://www.tohokuuniv-orch.com/>

京都大学交響楽団は、大正 5 年に創立された日本でも有数の伝統あるオーケストラです。創立の翌年より年 2 回の定期演奏会を戦時中も欠かすことなく開催し、過去には、長い歩みの中で、チャイコフスキー交響曲第 6 番「悲愴」の本邦初演やベートーヴェン交響曲第 9 番（合唱付き）の関西初演など楽壇に貢献し、近衛秀麿氏、当団 OB である朝比奈隆氏など著名な指揮者を客演にお迎えして、着実に発展を遂げてきました。

現在では定期演奏会やジョイントコンサートのほかにも、夏季休暇を利用した全国各地への演奏旅行など多彩な活動を通して、アマチュアオーケストラならではの時間と情熱とをかけた純粹な音楽づくりに取り組んでいます。

京都大学 交響楽団



京都大学交響楽団 第 194 回定期演奏会

客演指揮者：大山平一郎

曲目未定

大阪公演

2014 年 1 月 8 日

ザ・シンフォニーホール

京都公演

2014 年 1 月 10 日

京都コンサートホール

京都大学交響楽団 公式ホームページ

<http://kyodaiooke.com/>

入場料等の情報はホームページに掲載します。



京都大学交響楽団

学生指揮者

志方洋介
Shikata Yosuke

元フルートパートトップ・現 学生指揮者の志方洋介さんについて、フルートパートの方に聞いてみました。

—志方さんの第一印象は？

何でもできる人だなと思いました。トップを5期つとめられ、一緒に演奏していてもすごい人だと感じますし、知識も豊富で、とても尊敬しています。…え、弱点ですか？うーん…そういえば意外とお腹が出てるそうで、本人は結構気にしているらしいですね（笑）

—志方さんが学生指揮者になると決まったときはどう思いましたか？

面倒見のいい志方さんには適役だと思いました。でも、パート練習などで私たちのできが悪すぎると志方がイライラしてくるのがよく分かるし、キレると「あかん」と「ちゃう」しか言わなくなるときもあるので、総練（合奏）でもキレるのではないか、という不安はありました。まあ、総練中は内心キレかけていても笑顔はなんとか保っているようです。（今のところは…）

—普段の志方さんはどんな人ですか？

普段は親しみやすく、むしろ後輩にバカにされることも多い気がします。後輩に冷たくあしらわれた志方が、「練習中は素直でええ子やのに…」とこぼしているところを何度も目撃しました。コンパの席では後輩（主に女性団員）に恋人調査を行ったり、酔っ払ってケガをして、ほっぺたに傷をつけたまま翌日の総練に臨んだり、なんてことも。

ですが悩みを相談するといつも優しく聞いてくれて、後輩思いでみんなから慕われる素敵なお学指揮ですよ。

—ありがとうございました。今日披露してくださる指揮が楽しみですね！

京都大学交響楽団
コンサートマスター

三浦稔史 *Miura Toshifumi*



京都大学交響楽団のコンサートマスターを務めるのは、京都大学理学部4回生、三浦稔史である。変わり者の集いと称することもできる当団において演奏のトップを務めているだけあり、彼は一目に値する存在だ。彼は、きっと登場から魅せてくれる。オケのメンバーが全員入場した後、コンマスは遅れて入場するのだが……、彼はなんとなく歩き方が変である。その表情はいつものように穏やかで、落ち着いた様子であると思われるが、そんな彼も、酒が回ったときや、学部で研究している大好きなキノコのことについて考えたりしているときは、優しげな表情を封印し、普段からは考えられないほど舌が回るようになるのだ。また、彼はメガネワイパーになるほど長いまつ毛の間に大きな瞳を持っており、コンマス席までたどり着くと、京大生の代名詞ともいえる黒ぶちメガネを通して、オケ全体を見渡す。そして、前回の定期演奏会では緊張のためし忘れてしまったチューニングの際には、自慢である変わった形の耳をオーボエの音色に傾け、美しいAの音を響かせる。このように、演奏が始まるまでの間だけでも、彼の見どころは満載である。

音楽が始まってからは、ヴィオラやコントラバスをも弾きこなす彼の深い音色を聴いていただきたい。常に周囲のことを考えている仲間想いの彼の演奏には、きっと惹きつけられるものがある。本日の公演でも、彼は音楽への熱い想いを皆様に届けることだろう。

